

事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	鹿児島県	関係市町村	奄美市・龍郷町他10町村
事業名	水産資源環境整備事業（水産環境整備事業）		
地区名	アミ 奄美	事業主体	鹿児島県

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	—	漁場名	奄美地区
陸揚金額	1,769 百万円	陸揚量	3,304 トン
登録漁船隻数	2,046 隻	利用漁船隻数	1,432 隻
主な漁業種類	一本釣、延縄、曳縄	主な魚種	かつお類、まぐろ類、瀬物類、あじ類、たい類、ぶり類、いか類、その他
漁業経営体数	699 経営体	組合員数	2,929 人
地区の特徴	<p>本地区は、日本列島の南西部に位置し、大島本島、加計呂間島、請島、与路島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島からなりたっている。周辺海域では、カツオ、マグロ、サワラ等の浮魚の他、ムツ、ハマダイ、アオダイ等の瀬物魚を対象にした一本釣、曳縄漁業等が営まれている。</p> <p>一方で、漁業のほとんどが5t未満の小型船による操業であり、経営規模は零細で、漁業就業者の高齢化にともなう生産性の低下も問題となっている。</p>		
2. 事業概要			
事業目的	<p>本海域に設置している浮魚礁は、カツオ・マグロ類等の回遊魚への蝟集効果が高く操業の効率化に貢献しており、地区の漁業者にとって必要不可欠な漁場施設となっている。このため、浮魚礁を設置することにより、漁業生産量の維持を図る。</p> <p>また、魚礁の設置により、アジ類、タイ類、ブリ類の蝟集・滞留の場や生息の場を創出し、地域の水産資源の安定的な供給体制の構築を図る。</p>		
主要工事計画	浮魚礁：8基、魚礁：20,070空 ^m		
事業費	1,117百万円	事業期間	平成18年度～平成23年度

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化				
<p>本事業では、平成17年に事前評価を実施し、経済効果の妥当性について評価を行った。就業者の高齢化や減少等による生産力の低下や、燃油の高騰等によるコストの上昇など厳しい条件が続いている。</p>				
2. 事業効果の発現状況				
<p>浮魚礁の周辺では、蛸集したカツオ類、マグロ類を対象とした曳縄漁業、沿岸カツオ一本釣り漁業、旗流し漁業等が行われ、操業の効率化（漁場の探索時間の削減等）が図られている。また、浮魚礁漁場による漁獲量は漁船漁業による漁獲量の5割を占めるなど、水産物の生産基盤として有効に機能している。</p> <p>沈設魚礁では、カンパチ、アジ類、タイ類等を対象にした一本釣り漁業等が行われ、操業の効率化、生産量の安定（収入の安定）、安全性の向上（漁港から近く風の当たらない場所へ設置）に貢献している。</p>				
3. 事業により整備された施設の管理状況				
<p>県は地元漁協、市町村等で組織する奄美地区人工魚礁管理運営協議会に管理を委託している。協議会では、管理規程を定め、これに従い、適正に施設の維持管理を行っている。</p>				
4. 事業実施による環境の変化				
<p>魚類の産卵育成機能や餌料生物の増加による水産資源の増殖効果及び対象種以外の水産資源の増加効果が期待できる。</p>				
5. 社会経済情勢の変化				
<p>漁業者の高齢化や減少といった問題により、登録漁船隻数は、平成16年に2,046隻（経営体数：699）であったが、平成26年には1,781隻（経営体数：646）に減少しているが、水産業が地域の重要な役割を果たしていることに変わりはない。</p>				
6. 今後の課題				
<p>漁業者の高齢化等により就業人口の減少、生産性の低下が懸念されるため、水産系統団体と一体的となり就業相談会や漁業研修などによる新規就業者数の獲得に向けた取組を行っているところである。</p>				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成18年評価時の費用便益比B/C	1.15	現時点のB/C	1.05	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり

III 総合評価

本事業では、浮魚礁8基と魚礁20,070空^mを整備し、漁獲量の維持・増加や操業効率の向上が図られた。費用便益比も1.0を越えていることから、経済効果も確認された。

以上の結果から、本事業は当該地区において漁業経営の安定及び地域経済の振興へ寄与したものとなっており、想定した事業効果の発現が認められた。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	鹿児島県	地区名	奄美
事業名	水産環境整備事業	施設の耐用年数	浮魚礁 10年 その他 30年

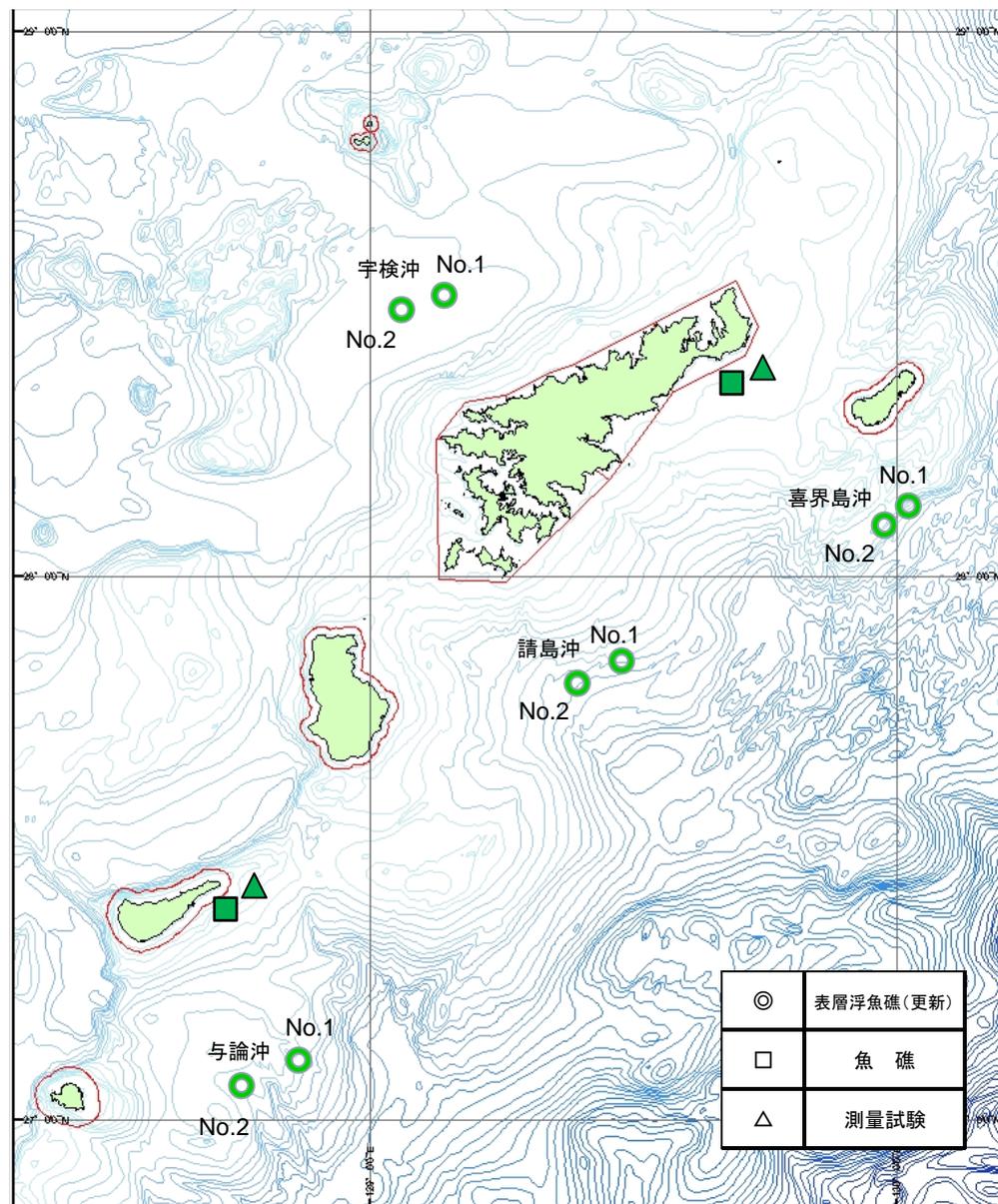
2 評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の評価項目及び便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果			1,463,178	千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就労環境の向上		⑤漁業就労環境の労働環境改善効果		千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果	321,160	千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬漁港利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	1,784,338	千円
総費用額（現在価値化）		C	1,699,710	千円
費用便益比		B / C		1.05

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

・魚礁が有する魚類の産卵育成機能による水産資源の増殖効果及び対象種以外の水産資源の増加効果

事業主体: 鹿児島県
 事業計画: 表層型浮魚礁8基
 魚礁20,070空m³
 事業費: 1,117百万円
 事業期間: 平成18年度～平成23年度



奄美地区水産環境整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的：本海域に設置している浮魚礁は、カツオ・マグロ類等の回遊魚への蟄集効果が高く操業の効率化に貢献しており、地区の漁業者にとって必要不可欠な漁場施設となっている。このため、浮魚礁を設置することにより、漁業生産量の維持を図る。
また、魚礁の設置により、アジ類、タイ類、ブリ類の蟄集・滞留の場や生息の場を創出され、好適な漁場が造成されるため、地域水産資源の安定的な供給体制の構築を図る。
- (2) 主要工事計画：浮魚礁8基
魚礁20,070空 m^3
- (3) 事業費：1,117百万円
- (4) 工期：平成18年度～平成23年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（平成29年4月改訂 水産庁）及び同「参考資料」（平成29年5月 水産庁）等に基づき算定。

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	1,699,710（千円）
総便益額（現在価値化）	②	1,784,338（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.05

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
浮魚礁	8基	748,150
魚礁	20,070空 m^3	368,833
計		1,116,983
維持管理費等		2,400
総費用（消費税込）		1,119,383
内、消費税額		53,190
総費用（税抜）		1,066,030
現在価値化後の総費用		1,699,710

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額（千円）	効果の要因
漁獲可能資源の維持・培養効果		107,776	・表層型浮魚礁設置による生産量の増加 ・魚礁整備による生産量の増加
漁業外産業への効果		28,296	・出荷過程における流通業に対する生産量の増加（島内分、島外分）
計		136,072	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率 ①	デフレーター ②	費用 (千円)			便益 (千円)			割引後 効果額合計 (千円) ①×④
				事業費 (維持管理費 含む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理費 含む)	漁獲可能資源 の維持・培養 効果	漁業外産業 への効果	計	
					③	①×②×③			④	
-11	18	1.539	1.168	196,000	186,667	335,543	0	0	0	0
-10	19	1.480	1.179	190,400	181,333	316,412	22,236	7,074	29,310	43,379
-9	20	1.423	1.177	208,060	198,152	331,880	31,059	7,074	38,133	54,263
-8	21	1.369	1.104	173,420	165,162	249,622	53,295	14,148	67,443	92,329
-7	22	1.316	1.061	178,613	170,108	237,517	75,531	21,222	96,753	127,327
-6	23	1.265	1.101	171,030	162,886	226,862	85,540	21,222	106,762	135,054
-5	24	1.217	1.063	240	222	287	107,776	28,296	136,072	165,600
-4	25	1.170	1.067	240	222	277	107,776	28,296	136,072	159,204
-3	26	1.125	1.020	240	222	255	107,776	28,296	136,072	153,081
-2	27	1.082	1.003	240	222	241	107,776	28,296	136,072	147,230
-1	28	1.040	1.000	240	222	231	107,776	28,296	136,072	141,515
0	29	1.000	1.000	240	222	222	85,540	21,222	106,762	106,762
1	30	0.962	1.000	180	167	160	85,540	21,222	106,762	102,705
2	31	0.925	1.000	120	111	103	63,304	14,148	77,452	71,643
3	32	0.889	1.000	60	56	49	41,068	7,074	48,142	42,798
4	33	0.855	1.000	60	56	48	41,068	7,074	48,142	41,161
5	34	0.822	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	15,480
6	35	0.790	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	14,877
7	36	0.760	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	14,312
8	37	0.731	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	13,766
9	38	0.703	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	13,239
10	39	0.676	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	12,730
11	40	0.650	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	12,241
12	41	0.625	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	11,770
13	42	0.601	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	11,318
14	43	0.577	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	10,866
15	44	0.555	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	10,452
16	45	0.534	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	10,056
17	46	0.513	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	9,661
18	47	0.494	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	9,303
19	48	0.475	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	8,945
20	49	0.456	1.000	0	0	0	18,832	0	18,832	8,587
21	50	0.439	1.000	0	0	0	10,009	0	10,009	4,394
22	51	0.422	1.000	0	0	0	10,009	0	10,009	4,224
23	52	0.406	1.000	0	0	0	10,009	0	10,009	4,064
計				1,119,383	1,066,030	1,699,710	1,454,400	282,960	1,737,360	1,784,338

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定
 ※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 漁獲可能資源の維持・培養効果

(i) 表層型浮魚礁設置による生産量の増加

区分		備考
浮魚礁の規模 (基)	① 8	表層型浮魚礁8基設置
表層型浮魚礁での生産実績 (kg/基)	② 43,946	奄美地区表層型浮魚礁の実績(H22~26) (別紙1参照)
表層型浮魚礁における年間の生産量 (kg)	③ 351,568	①×②
平均単価 (円/kg)	④ 459.99	奄美群島の概況(平成24~28年度報告)より H22~H26平均(カツオ類・マグロ類・サワラ) (別紙1参照)
表層型浮魚礁における年間生産額 (千円)	⑤ 161,716	③×④/1,000
漁業変動経費率	⑥ 0.45	平成27年度個人経営体調査(水産庁:その他一本釣) (別紙4参照)
年間便益額 (千円/年)	88,944	⑤×(1-⑥)

(ii) 魚礁整備による生産量の増加

区分		備考
魚礁漁場における平均年間生産額 (千円) ※H22~H26生産量	① 377,222	奄美群島の概況(平成24~28年度報告)より (別紙2参照)
魚礁漁場における平均年間生産額 (千円) ※H11~H15生産量	② 342,982	奄美群島の概況(平成13~17年度報告)より (別紙2参照)
増加額 (税抜)	③ 34,240	①-②
漁業変動経費率	④ 0.45	平成27年度個人経営体調査(水産庁:その他一本釣) (別紙4参照)
年間便益額 (千円/年)	18,832	③×(1-④)

(2) 漁業外産業への効果

(i) 出荷過程における流通業に対する生産量の増加（表層型浮魚礁：島内分）

区分		備考
カツオ生産量 (kg)	① 131,329	奄美群島の概況（平成24～28年度報告）より H22～H26（カツオ類） （別紙1参照）
マグロ類生産量 (kg)	② 206,011	奄美群島の概況（平成24～28年度報告）より H22～H26（マグロ類） （別紙1参照）
島内消費率	③ 0.35	奄美群島における水産物の輸送に関する調査検討業務（国 土交通省国土政策局，平成26年2月）
カツオ産地市場単価（円/kg）	④ 416.86	奄美群島の概況（平成24～28年度報告）より H22～H26（カツオ類） （別紙1参照）
カツオ消費者販売単価（円/kg）	⑤ 740.70	調査日：平成28年12月 調査対象者：名瀬漁協等 調査実施者：鹿児島県職員 調査実施方法：聞き取り （別紙6参照）
マグロ類産地市場単価（円/kg）	⑥ 482.32	奄美群島の概況（平成24～28年度報告）より H22～H26（マグロ類） （別紙1参照）
マグロ類消費者販売単価（円/kg）	⑦ 740.70	調査日：平成28年12月 調査対象者：名瀬漁協等 調査実施者：鹿児島県職員 調査実施方法：聞き取り （別紙6参照）
所得率	⑧ 0.33	総務省個人企業経済調査（飲食料品小売業） （H24～H28の平均） （別紙3参照）
便益額（カツオ，千円）	⑨ 4,912	$① \times ③ \times (⑤ - ④) \times ⑧ / 1,000$
便益額（マグロ類，千円）	⑩ 6,148	$② \times ③ \times (⑦ - ⑥) \times ⑧ / 1,000$
年間便益合計額（千円/年） 税抜	11,060	$⑨ + ⑩$

(ii) 出荷過程における流通業に対する生産量の増加（表層型浮魚礁：島外分）

区分		備考
カツオ生産量 (kg)	① 131,329	奄美群島の概況（平成24～28年度報告）より H22～H26（カツオ類） （別紙1参照）
マグロ類生産量 (kg)	② 206,011	奄美群島の概況（平成24～28年度報告）より H22～H26（マグロ類） （別紙1参照）
島外出荷率	③ 0.65	奄美群島における水産物の輸送に関する調査検討業務（国 土交通省国土政策局，平成26年2月）
カツオ産地市場単価（円/kg）	④ 372.97	鹿児島県水産物卸売市場統計年報の鹿児島市中央卸売市場 （H23～H27平均） （別紙5参照）
カツオ消費地市場単価（円/kg）	⑤ 785.51	東京都中央卸売市場統計（H24～H28平均） （別紙5参照）
マグロ類産地市場単価（円/kg）	⑥ 606.02	鹿児島県水産物卸売市場統計年報の鹿児島市中央卸売市場 （H23～H27平均） （別紙5参照）
マグロ類消費地市場単価（円/kg）	⑦ 745.27	東京都中央卸売市場統計（H24～H28平均） （別紙5参照）
所得率	⑧ 0.32	総務省個人企業経済調査（卸売業） （H24～H28の平均） （別紙3参照）
便益額（カツオ，千円）	⑨ 11,269	$① \times ③ \times (⑤ - ④) \times ⑧ / 1,000$
便益額（マグロ類，千円）	⑩ 5,967	$② \times ③ \times (⑦ - ⑥) \times ⑧ / 1,000$
年間便益合計額（千円/年） 税抜	17,236	$⑨ + ⑩$

○表層型・中層型浮魚礁更新による生産量の増産効果便益算定根拠の詳細説明資料 (別紙1)

生産量							単位:トン
魚種	H22	H23	H24	H25	H26	平均	備考(表層1基あたり)
カツオ類	346.000	469.000	362.000	373.000	416.000	393.200	—
マグロ類	721.000	643.000	498.000	575.000	647.000	616.800	—
サワラ	53.000	31.000	48.000	38.000	43.000	42.600	—
合計	1,120.000	1,143.000	908.000	986.000	1,106.000	1,052.600	—
表層型(33.4%)	374.080	381.762	303.272	329.324	369.404	351.568	43.946
┌カツオ類	115.564	156.646	120.908	124.582	138.944	131.329	16.416
└マグロ類	240.814	214.762	166.332	192.050	216.098	206.011	25.751
└サワラ	17.702	10.354	16.032	12.692	14.362	14.228	1.779
中層型(33.3%)	372.960	380.619	302.364	328.338	368.298	350.516	—
┌カツオ類	115.218	156.177	120.546	124.209	138.528	130.936	—
└マグロ類	240.093	214.119	165.834	191.475	215.451	205.394	—
└サワラ	17.649	10.323	15.984	12.654	14.319	14.186	—

生産額							単位:百万円	
魚種	H22	H23	H24	H25	H26	平均(税込)	平均(税抜)	
カツオ類	111.000	236.000	162.000	160.000	197.000	173.200	163.910	
マグロ類	374.000	301.000	246.000	292.000	359.000	314.400	297.529	
サワラ	27.000	21.000	28.000	22.000	22.000	24.000	22.741	
合計	512.000	558.000	436.000	474.000	578.000	511.600	484.180	
表層型(33.4%)	171.008	186.372	145.624	158.316	193.052	170.874	161.716	
┌カツオ類	37.074	78.824	54.108	53.440	65.798	57.849	54.746	
└マグロ類	124.916	100.534	82.164	97.528	119.906	105.010	99.375	
└サワラ	9.018	7.014	9.352	7.348	7.348	8.016	7.595	
中層型(33.3%)	170.496	185.814	145.188	157.842	192.474	170.363	161.232	
┌カツオ類	36.963	78.588	53.946	53.280	65.601	57.676	54.582	
└マグロ類	124.542	100.233	81.918	97.236	119.547	104.695	99.077	
└サワラ	8.991	6.993	9.324	7.326	7.326	7.992	7.573	

平均単価(産地市場単価, 税抜)						単位:円/kg
魚種	H22	H23	H24	H25	H26	平均単価(税抜)
カツオ類	306	479	426	409	451	416.86
マグロ類	494	446	470	484	528	482.38
サワラ	485	645	556	551	487	533.82
合計	435	465	457	458	498	459.99

※データ出典「奄美群島の概況」より

※表層型浮魚礁漁獲割合(33.4%):奄美群島地区人工魚礁管理運営協議会聞き取り

※中層型浮魚礁漁獲割合(33.3%):奄美群島地区人工魚礁管理運営協議会聞き取り

○沈設型魚礁の漁場造成による生産量の増産効果便益算定根拠の詳細説明資料 (別紙2)

※H26のデータが最新

※H22～H26の5年平均値を事後評価の実績値とした。

表1. 関係地区の対象魚種別漁獲量の推移 単位:トン

	H22	H23	H24	H25	H26	平均
アジ類	27	14	12	18	10	16.2
タイ類	8	9	9	8	6	8
ブリ類	22	20	22	17	22	20.6
その他	491	516	491	499	489	497.2
計	548	559	534	542	527	545.75

表2. 関係地区の対象魚種別漁獲金額の推移 単位:百万円

		H22	H23	H24	H25	H26	平均
アジ類	(税込)	12.000	6.000	6.000	8.000	6.000	7.600
	(税抜)	11.429	5.714	5.714	7.619	5.556	7.206
タイ類	(税込)	5.000	7.000	6.000	6.000	7.000	6.200
	(税抜)	4.762	6.667	5.714	5.714	6.481	5.868
ブリ類	(税込)	16.000	17.000	17.000	16.000	16.000	16.400
	(税抜)	15.238	16.190	16.190	15.238	14.815	15.534
その他	(税込)	299.000	406.000	393.000	390.000	352.000	368.000
	(税抜)	284.762	386.667	374.286	371.429	325.926	348.614
計	(税込)	332.000	436.000	422.000	420.000	381.000	402.500
	(税抜)	316.190	415.238	401.905	400.000	352.778	377.222

表3. 平均単価(税抜)

	H22	H23	H24	H25	H26	平均単価(税抜)
アジ類	423	408	476	423	556	457.29
タイ類	595	741	635	714	1,080	753.09
ブリ類	693	810	736	896	693	765.42
その他	580	749	762	744	686	704.30
計	577	743	753	738	689	699.80

表4. 計画策定時の関係地区の対象魚種別漁獲量(H11～H15)

	H11～H15	
	数量(トン)	生産額(百万円)
アジ類	71.8	(税込) 33.028
		(税抜) 31.455
タイ類	11.4	(税込) 8.995
		(税抜) 8.567
ブリ類	29.6	(税込) 28.002
		(税抜) 26.669
その他	408.6	(税込) 290.106
		(税抜) 276.291
計	521.4	(税込) 360.131
		(税抜) 342.982

※データ出典「奄美群島の概況」より

○総務省個人企業経済調査

(別紙3)

【卸売業および飲食料品小売業における所得率】

卸売業

	H24	H25	H26	H27	H28	平均
売上総利益	7,140	7,491	5,453	7,554	6,366	6,801
営業費	4,339	4,948	4,148	5,000	4,421	4,571
経費率	0.61	0.66	0.76	0.66	0.69	0.68
所得率	0.39	0.34	0.24	0.34	0.31	0.32

飲食料品小売業

	H24	H25	H26	H27	H28	平均
売上総利益	5,672	5,884	5,954	5,529	5,264	5,661
営業費	4,044	3,868	3,854	3,573	3,605	3,789
経費率	0.71	0.66	0.65	0.65	0.68	0.67
所得率	0.29	0.34	0.35	0.35	0.32	0.33

○便益算出における漁業変動経費の内訳

(別紙4)

その他の釣り(3~5T)の場合					漁業経営 調査の数 値	「連動しな い」を除く 漁労支出	漁労収入
支出内訳 (漁業経営調査の費目)	生産量の増 減との関係	備考	計上す る費目	費目	千円	千円	6,197
期首期末棚卸増減	連動しない	生産量増加との関係なし		期首期末棚卸増減			
雇用労賃	連動する	増加した分は、作業量が増える	○	雇用労賃	0	0	
漁船・漁具費	分割不能	(釣りに必要な資材と思われる)	○	漁船・漁具費	403	403	
油費	連動する	作業量が増える分増加	○	油費	911	911	
えさ代	連動する	生産が増える分増加	○	えさ代	158	158	
種苗代	連動しない	該当なし		種苗代			
核代	—	—	—	核代		—	
修繕費	連動する	生産が増える分増加	○	修繕費	231	231	
販売手数料	連動する	生産が増える分増加	○	販売手数料	461	461	
負債利子	連動しない	生産量増加との関係なし		負債利子	20		
租税公課諸負担	連動しない	生産量増加との関係なし		租税公課諸負担	97		
その他	分割不能	内容不明	○	その他	610	610	
減価償却費の内訳				減価償却費の内訳			
建物・構築物	連動しない	生産量増加との関係なし		建物・構築物	16		
船舶	連動しない	船舶数は増えない		船舶	592		
漁網・はえ縄	—	—	—	漁網・はえ縄		—	
養殖施設	連動しない	該当なし	—	養殖施設			
漁業権	—	—	—	漁業権			
その他	連動しない	生産量増加との関係なし		その他	67		
					3,566	2,774	

漁業変動経费率 = ① ÷ ② … 0.448 ÷ 0.45

漁労収入①	6,197
漁業変動経費②	2,774
漁業変動経费率	0.448

従って、「その他釣り」の漁業変動経费率は0.45とする

出典：平成27年度漁業経営調査報告(農林水産省大臣官房統計部)

○消費地市場単価, 産地市場単価

(別紙5)

1 東京都中央卸売市場

【かつお類】

単位:kg, 金額:円

	H24	H25	H26	H27	H28	合計
数量	674,319	878,175	894,851	475,478	868,461	3,791,284
金額	498,327,356	629,310,999	819,307,912	453,972,758	759,215,024	3,160,134,049
単価(税込)	739	717	916	955	874	840.04
単価(税抜)	704	682	848	884	809	785.51

【まぐろ類】

単位:kg, 金額:円

	H24	H25	H26	H27	H28	合計
数量	49,155	5,037	52,854	23,773	4,136	134,955
金額	34,320,613	4,357,146	39,753,108	17,831,848	3,781,766	100,044,481
単価(税込)	698.2	865.0	752.1	750.1	914.4	795.96
単価(税抜)	665.0	823.8	696.4	694.5	846.6	745.27

2 鹿児島市中央卸売市場

【かつお類】

単位:トン, 金額:千円

	H23	H24	H25	H26	H27	合計
数量	6,668	6,098	8,938	7,306	6,061	35,071
金額	2,404,574	2,270,705	3,134,050	3,411,491	2,682,094	13,902,914
単価(税込)	360.6	372.4	350.6	466.9	442.5	398.62
単価(税抜)	343.4	354.6	324.7	432.4	409.7	372.97

【まぐろ類】

単位:トン, 金額:千円

	H23	H24	H25	H26	H27	合計
数量	3,489	3,000	2,612	3,047	3,123	15,271
金額	2,237,234	2,023,786	1,748,543	1,866,031	1,990,166	9,865,760
単価(税込)	641.2	674.6	669.4	612.4	637.3	646.98
単価(税抜)	610.7	642.5	619.8	567.1	590.1	606.02

出典:鹿児島県水産物卸売市場年報

○消費者販売単価

(別紙6)

【小売価格】(ラウンド)

単位:円/kg

	直売店A	直売店B	鮮魚店C	平均(税込)	平均(税抜)
カツオ	800	800	800	800	740.7
マグロ	800	800	800	800	740.7

※直売店Aは、沿岸かつお一本釣り漁業を主とする漁業者で直販を行っている

※直売店Bは、漁協出荷店舗

※鮮魚店Cは、奄美市内の鮮魚店